

経営企画部門

病院経営分析のためのExcelスキル ● 第4回

もう一つの“形”である「ミラー手法」を身につけよう

ゴールデnrルールズ・コンサルティング株式会社代表
芦田弘毅

2	DPC	I	II	III	IV	外	総計
3	06総数	165	582	400	119	34	1,300
168	060280xxxxxxx	3	2		1		6
169	060290xx99x0xx					7	7
170	060295xx99x0xx	1		1	1		3
171	060295xx99x1xx		3				3
172	060300xx01000x		1	2			3
173	060300xx0110xx			1			1
174	060300xx97000x	2	1	1			4
175	060300xx97100x	1	3	2			6
176	060300xx97111x			1			1
177	060300xx99x00x	2	7	3	5		17
178	060300xx99x01x	1					1
179	060310xx97xxxx			2	1		3
180	060310xx99xxxx		1				1
181	060320xx97xxxx		1				1
182	060330xx02xxxx		6				6

手順1
表のように、DPCごとの入院期間別症例数の一覧表について、その入院期間I～IVについて、それぞれの症例割合を百分率で示していきます。

手順2 ミラーを作る前に、やるべきことは、実数による表の完成です。ここでは、入院期間I・II・III・IVに属さない、いわゆるDPC対象外症例を外すために、1列挿入して、「DPC対象外を除いた症例総数」を出します。エクセル表を完成させた後は、右隣に表をそのままコピーします。(ミラーの作成)

手順3 右の表を症例数一覧としてそのまま残し、左の表を症例割合一覧としてこちらに数式を入れます。左の表のうち、数式を入れる最初のセル(ここでは、「I3」)に、右の表を参照させながら数式を入力(K3/\$Q3)します。※今回の場合、分母の列:Qだけ、\$マークをつけて固定するのがポイント

手順4 I3の数式をそのまま左表全部のセルに貼り付ければ完成です。

折れ線グラフと棒グラフと円グラフ、横軸・縦軸のまとめ方など、同じデータを使っている、図表で表現する時の手法はさまざまです。そして、グラフを、実数で表現するのか、パーセントに表現するのか。パーセントにしても、積

のままコピーして全セルに貼り付けるだけで、一覧表が完成するメリットがあります。形」の設計を間違えなければ、何万行のセルを扱おうが、数回の数式入力だけで表の全部が埋まる。これこそ、単純作業から解放されるデジタル時代の恩恵といえるでしょう。

DATA
ゴールデnrルールズ・コンサルティング株式会社
 東京都渋谷区渋谷2-7-14
 中村ビル5F
 TEL : 03-6427-6382
 E-mail : info@g-rules.co.jp
 URL : http://g-rules.co.jp/

折れ線グラフと棒グラフと円グラフ、横軸・縦軸のまとめ方など、同じデータを使っている、図表で表現する時の手法はさまざまです。そして、グラフを、実数で表現するのか、パーセントに表現するのか。パーセントにしても、積

のにも、勝手に気を利かせてくれる機能も充実しています。詳細は、図1～図3をご覧ください。普段、多くの方が当たり前として受け取っている機能ですが、よく考えてみると、とても気が利いている

「ミラー手法」のサンプルとして、様式1を加工したり、弊社のDPCベンチマークサービス「DPCカルテ」からも取り出せる「入院期間I・II・III・IVの症例数」データを用い、「百分率による症例割合の一覧表」を作成します。詳細は「手順1～手順4」を参照ください。便利なのは、位置関係が連動している割合(パーセンテージ)を示す表と、実際の症例数を示す表が、左右に並んで相互補完をすることです。たとえば、「症例割合は50%を示してい

折れ線グラフと棒グラフと円グラフ、横軸・縦軸のまとめ方など、同じデータを使っている、図表で表現する時の手法はさまざまです。そして、グラフを、実数で表現するのか、パーセントに表現するのか。パーセントにしても、積

のにも、勝手に気を利かせてくれる機能も充実しています。詳細は、図1～図3をご覧ください。普段、多くの方が当たり前として受け取っている機能ですが、よく考えてみると、とても気が利いている

「ミラー手法」のサンプルとして、様式1を加工したり、弊社のDPCベンチマークサービス「DPCカルテ」からも取り出せる「入院期間I・II・III・IVの症例数」データを用い、「百分率による症例割合の一覧表」を作成します。詳細は「手順1～手順4」を参照ください。便利なのは、位置関係が連動している割合(パーセンテージ)を示す表と、実際の症例数を示す表が、左右に並んで相互補完をすることです。たとえば、「症例割合は50%を示してい

図1 セルC3に、A3*B3というかけ算(乗算)式が入っていたとします。

図2 「C3」セルをコピーして、1段下の「C4」、2段下の「C5」にそのまま貼り付け(ペースト)すると、図2のように、1段下の「C4」には「A4*B4」、2段下の「C5」には「A5*B5」とそれぞれ、位置関係に応じて、数式が変更してくれます。

図3 位置の移動に連動してほしくない場合は、「\$C3、C\$3、\$C\$3」というように、行・列の前に、「\$」をつけます。図の場合、C3=A3*B3と、行番号の前に\$をつけたので、行が変わっても変化していません。